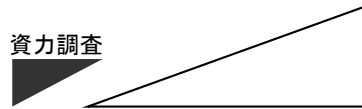
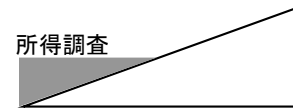


資料2 一元化の選択肢(モデル)

[モデルA: 統合社会保険(1階建)]

[A-1: 公的扶助 + 報酬比例]
(アメリカ型)

1. 一定の所得を有する者は全て単一の保険制度に加入
2. セーフティネットは公的扶助により対応

[A-2: 最低保障年金 + 報酬比例]
(スウェーデン型)

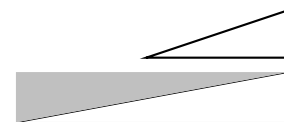
1. 一定の所得を有する者は全て単一の保険制度に加入
2. 所得調査と居住年数に基づき最低保障年金を支給
3. 所得調査は報酬比例部分のみの年金額を対象.

[モデルB: 社会保険(2階建)]

[B-1: 基礎年金(1/2保障) + 報酬比例]



1. セーフティネットは 基礎年金(1/2は一般財源により保障)と公的扶助で対応
2. 一定の所得を有する者は全て基礎年金に加入、所得比例の保険料(定率)
3. 報酬比例部分は主として雇用者を対象

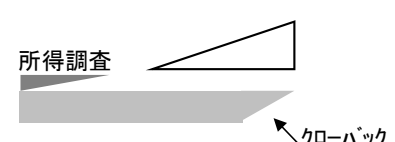
[B-2: 基礎年金 + 報酬比例]
(オランダ型)

1. 一定の所得がある限り全ての国民が基礎年金に加入。その保険料は所得比例(定率)
2. 基礎年金は居住年数に基づき支給。不足分を一般財源で補助
3. 報酬比例部分は主として雇用者を対象

[モデルC: 国民皆年金 + 保険(2階建)]

[C-1: 国民皆年金(資力調査付) + 報酬比例]
(オーストラリア型)

1. セーフティネットは資力調査付の国民皆年金(ユニバーサル)
2. 報酬比例部分は主として雇用者を対象

[C-2: 国民皆年金 + 補足給付 + 報酬比例]
(カナダ型)

1. セーフティネットは国民皆年金と補足給付(扶助)を併せて対応
2. 報酬比例部分は主として雇用者を対象

※モデルB・Cの報酬比例部分は必ずしも一元化(職業間の統一)は必要ない